

令和3年7月5日

長野県知事 様

令和2年度長野県産業廃棄物3R実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和元年度から令和3年度	
会社名	高木建設株式会社	
住所	〒380-0961 長野市安茂里小市1丁目3-31	
代表者名	代表取締役社長 高木 正雄	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
	施設無し	
担当部署	総務部	
担当者名	中村 清美	
連絡先	TEL	026-226-6061
	FAX	026-228-5459
	電子メールアドレス	info@takagi-kk.co.jp

1 目標達成状況

(1) 総排出量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

① 総排出量 (t ・ kg 又は m³ ※採用した単位に○) / 売上高 (円)

当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
令和2年度目標値	令和2年度実績値	令和元年度実績値	平成30年度実績値
0.0000030	0.0000015	0.0000033	0.0000037

② ①以外の指標

当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
平成 年度目標値	平成 年度実績値	平成 年度実績値	平成 年度実績値

(2) 廃棄物処理（リサイクルしたものは除く）に要した費用に関する達成状況

廃棄物処理（リサイクルしたものは除く）に要した費用（円）／売上高（円）×100（％）

当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
令和2年度目標値	令和2年度実績値	令和元年度実績値	平成30年度実績値
0.320%	0.289	0.339%	0.218%

(3) リサイクルに要した費用に関する達成状況

リサイクルに要した費用（円）／売上高（円）×100（％）

当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
平成 年度目標値	平成 年度実績値	平成 年度実績値	平成 年度実績値

(4) リサイクル率（％）

廃棄物の種類	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和2年度 目標値	令和2年度 実績値	平成元年度 実績値	平成30年度 実績値
コンクリート・アスファルト	100%	100%	100%	98.5%
木くず	64%	59.5%	61.4%	35.6%
金属くず	100%	100%	100%	99.8%

(5) リサイクル製品使用率（％）

製品（材料）種別	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	令和2年度 目標値	令和2年度 実績値	平成元年度 実績値	平成30年度 実績値
再生砕石	63.0%	63.57	60.2%	61.9%
再生アスファルトコンクリート	93.0%	87.23	92.8%	83.5%

*リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

2 産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開実績

<ul style="list-style-type: none"> ・弊社ホームページ（CSR活動－環境への取り組み－3R実践協定ページ）にて産業廃棄物の種類・排出量・処理量・処理方法を掲載した。 ・エコアクション21の運用上作成する「環境経営レポート」にて情報を公表した。 ・各現場において産業廃棄物を一時仮置きする場合は、産廃物の種類・管理者等の掲示板を設置した。
--

3 産業廃棄物処理施設の地域への公開実績（処理施設を有する場合のみ）

施設の名称	施設公開状況			
	日時	対象者	人数	内容
処理施設無し				

4 処理を委託した処理業者（施設）の現地確認実績

区分	廃棄物の種類	現地確認結果（確認回数、確認日、確認状況等）
中間処理場 最終処分場	コンクリート塊・アスファルト塊 木くず ガラス及び陶磁器くず 廃プラスチック 混合廃棄物 燃え殻、汚泥	各作業所において現地確認を実施した。結果を建築部長及び土木部長に報告し、適正な処理が行われていた。

5 従業員教育（研修）実績

実施月日	対象者	実施内容
R2. 04. 01～ R3. 03. 31	全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の定例会開催時に社内報（ECO通信）を配付して、産廃物の減量化・適正処理の意識向上、情報の提供及び共有化を図った。 ・県環境部資源循環推進課より配信される「産業廃棄物情報電子メール」を関係部署へ転送し、情報の共有を図っている。
	作業所	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全パトロールにて、産廃物の保管、分別について確認・指導を行った。

6 リサイクル促進に向けた取組み実績

- ・ 全社環境経営方針・環境経営目標に沿ってP D C Aサイクルを実施し、産業廃棄物減量化・適正処理を行った。実施状況は社内安全パトロール時に、保管状況・分別状況・マニフェスト管理状況等を指導・確認した。
- ・ 優良認定処理業者への処理委託を推進するよう指導した。
優良認定業者への委託率： 令和2年度 23.86%
令和元年度 20.33%
平成30年度 30.50%
- ・ 省エネルギー・省資源型製品の設計、環境に配慮した製品の製造、環境負荷の少ない工法を顧客に提案した。

7 処理を委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者としての取組み実績

当社が処理を委託した産廃物については、現地確認なども行い、最終処分まで適切に処理されたことを確認した。

8 他の不適正処理が生じた場合の協力実績

他の発生はありません。

9 その他独自に取組んだ事項についての実績

※環境認証制度等の取得*電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

- ・ エコアクション21（令和元年度、登録10年継続表彰）、ながのエコ・サークル（ゴールドランク）、電子マニフェストの活用に基づいた運用を行っている。
電子マニフェスト利用率： 令和2年度 49.58%
令和元年度 51.59%
平成30年度 27.44%

<ごみ減量化の推進>

- ・ 使い捨て容器を使用した製品の購入自粛、事務用紙等の使用量の抑制、個人ゴミの抑制を推進し、ごみの減量化を図っている。
- ・ ごみの分別・処理を徹底。ゴミは全て計量し記録することで排出量を抑制している。
- ・ 社内で発生する生ごみは堆肥化し、花壇の堆肥として利用している。

<リサイクルの推進>

- ・ 古紙・冊子・ダンボール等可能なものはリサイクルしている。
- ・ 廃棄物は品目ごとに分別を徹底し、資源化及び適正処理を行っている。

<再生品の促進利用>

- ・ 環境配慮商品（グリーン購入）の購入を積極的に行っている。
- ・ 現場にて、信州リサイクル製品の使用促進を行った。

<地球環境に配慮した生産活動の推進>

- ・環境・住む人の健康に配慮した（省エネルギー、耐久性に優れた材料・工法、環境負荷の少ない資材等）施工設計の提案を行っている。
- ・再生原料の利用促進として古民家・古材の再利用を古民家のリフォームや古材を再利用した住まいづくりを行っている。
- ・現場の施工時期や場所に応じた環境配慮の推進を行っている。一例として、地すべり対策工事現場にて、場内の倒木を有効活用するため薪ストーブを使用。また、灰を場内の融雪剤として使用、沸かし湯で凍結した資材や機材を解凍する等資源の有効活用につなげた。

<ごみの減量化及びリサイクルに関する情報発信の推進>

- ・社員への社内教育・意識啓蒙（社内報ECO通信の発行・ゴミ当番の実施・環境掲示板の設置・エコ表彰・産業廃棄物情報メールの配信）を実施している。

<地球環境保全への協力>

- ・地域清掃等環境美化活動への協力として、毎月1回全社一斉環境整備、冬期における市道・農道の雪掻きを実施している。
- ・年に数回、弊社裏山（里山）・機材センター裏にある桜の公園の雑木伐採及び草刈り、公園までの道路の清掃（ゴミ拾い・草刈り・側溝泥上げ等）を行っている。
- ・信州プラスチックスマート運動の活動として、土尻川の河川の一斉清掃、薬師沢石張水路周辺の草刈り・投棄ゴミの回収等を行った。
- ・本社内にあるケヤキの落ち葉を地域の希望者へ提供している。
- ・廃材となる木材を薪（薪ストーブ）として使用される方へ提供している。
- ・建設業 美化ボランティア（長野県建設業協会 長野支部 主催）に参加している。
- ・古い茅はそのままでは産廃となってしまう、処分費用がかかるが、市の環境部の了解を経て、耕作地に肥料として活用でき、自然リサイクルが回転できた。
- ・支障木を破棄せずに、柱材、薪等として有効的に活用を進めた。

<その他この制度の目的に沿った事業>

- ・省エネルギーを推進（光熱費及び使用量を集計し、対策・指導に活用。不要電源off
- ・不要電灯撤去・太陽光発電の導入・社有車及び車輛建設機械のアイドリングストップ & エコドライブ・冷暖房の温度管理・薪ストーブの導入・節水徹底等）
- ・長野市事業所向け温暖化対策支援サイト「エコステップながの」を通じて、「COOL CHOICE（クールチョイス）」（地球温暖化対策のための国民運動）に賛同し、省エネ活動とコスト削減に努めている。
- ・長野県版「SDGs」推進企業に登録（令和元年7月26日）
- ・環境省主催「環境人づくり企業大賞2020」優秀賞を受賞（令和3年3月22日）

*環境 ISO 14001、エコアクション 21 等